

## 行事予定

9月22日(火) 秋季彼岸会 ※縮小開催

9月26日(土) 龍雲寺タンマトーク

横田南嶺老大師

【オンラインにて開催】

10月 天満敦子ヴァイオリンコンサート

【延期・未定】

12月 子ども会 餅つき大会【協議中・未定】

12月 除夜の鐘



本堂の外装も新たになりました。



裏門の改修。環七時代より使われている大切な門です。



七夕に願いを込めて。

## 編集後記

○皆様いかがお過ごしですか？暑いですがね！新型コロナウイルス、熱中症と猛暑で大変です。クーラーの嫌いな方は命を守る為にクーラーを上手に使用して下さい  
○ご本山妙心寺のお写経をされると色紙や硯箱等の記念品が頂けます。何巻までと目標を決めると楽しみになり字も上手になります  
○ステイホーム中に住職が家庭菜園でゴーヤ、茄子等を作り新鮮な野菜を食べる事が出来ました  
○猛暑と日照りが続いて植木が水枯れで毎朝、お風呂等の水を庭にまいています  
皆様も庭の木や道端の木にもお水をあげて頂けたら嬉しいです  
○犬の散歩コースは人通りの少ない道を熱中症予防の為マスクを外して、必要な時に直ぐマスクが出来る様になっています  
○巡拝の時は皆様のペットボトルのお水に梅干しを入れていきます  
水分と塩分補給出来おすすめてです  
○男性も日傘を使われると人との距離も取れ熱中症予防にも良いと思います  
○晴雨兼用の傘が便利です  
○本堂は四方の扉や窓が開きクーラーも効いています  
皆様にお目にかかれるのを楽しみにしています  
お元気で。 要子

## 臨濟宗妙心寺派

# 龍雲寺 花園会報

### 二〇二〇年 秋彼岸号

監修／細川 晋輔

編集／細川 要子

〒一五四一〇〇三

東京都世田谷区野沢三三三八一

TEL〇三三三四二一〇二三八

FAX〇三三三四一八一九八六三

野沢龍雲寺 検索

## ご挨拶

新命住職 細川 晋輔

長い梅雨も終わって、まさに夏本番の毎日が続いております。一転して雨がほとんど降らなくなっていますので、皆で境内の植木に水をまくのが日課となっています。

窓から見える境内の景色は今までと全く変わりませんが、新型コロナウイルス感染症は、未だに私たちの心に暗い影を落とすし続けています。新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方々に、哀悼の意を表するとともに、ご遺族様に心よりお悔やみ申し上げます。また、医療従事者をはじめ、私たちの生活を守ってくださる職業の方々に、重ねて感謝申し上げます。

父の代から続いていた坐禅会や写経会も未だに再開のめどすらたらず、法話会やお寺を使っている活動も長い間、休止状態となっております。ほた餅をお出しする春の彼岸会や夏のお施餓鬼も縮小しての開催となり、毎年檀信徒の皆様のお宅をお参りさせて頂いた「棚経」も、本堂に場所を移して密にならないように挙行いたしました。私自身、中学生から棚経にまわらせていただいておりますが、三十年後にこんな夏が来るとは夢にも思っておりませんでした。

先々代や先代の頃より龍雲寺では、皆様に集まっていただけ

るお寺であることを何より大切にしていまいりました。その歴史の中で、今回のことは言葉もないくらい無念なことでした。ただ、今できること、今しかできないことをしっかりと見定めて、一つ一つ丁寧に行いながら、一日も早くマスクをつけずに、距離も気にせず楽しく皆様とお話できる日がくることを心より祈念するしかありません。

こんな時節だからこそ「先祖を敬い、故人をしのぶ」という秋季彼岸会におきまして、皆様方にとって亡くなられた大切な方々との対話の時間になれば幸いです。酷暑で体もお疲れだと思えます。くれぐれもご自愛いただきますようお願い申し上げます。

## 令和二年 秋季彼岸会 縮小開催のお知らせ

九月二十二日(火)に予定していた秋季彼岸会ですが、昨今の感染症拡大防止のため、法話・御詠歌・お茶やおはぎ等の接待を中止とし、三密を防ぎながら消毒や換気に注意し、春の彼岸同様縮小して行わせていただきます。

九月二十二日(火) 十三時半 法要のみ厳修(ご焼香いただけます)

※塔婆は当日午前八時より随時お渡しさせていただきます。尚、ご欠席の方のお塔婆につきましては、当日の午後十四時すぎに寺の方であげさせていただきます。お塔婆料は後日いつでも都合のよろしい時にお持ちくださいませ。



## 閑栖和尚 ご挨拶

「幾時か熱と苦しみて西風を念う、九月西風落葉を驚かす」  
暑い夏も終わり彼岸を迎えます。例年通りの法要が出来ず残念です。

皆様には新型コロナウイルスの蔓延の時節乍らお元気にお暮りでしょうか。

九月を迎えるといつも思い出す一句です。  
かつて京都での修行時代、暑い暑い夏が終わり、九月になると、いよいよ冬の修行期間に入ります。初日に老師が講座台の上より切々と読まれるのが、この遺文です。身心を引き締めて拝聴したものです。

幾時か熱と苦しみて西風を念う、九月西風落葉を驚かす。看よ。光陰、此の如く遷り易し。

諸禪徳、甚麼辺の事をか成し得たる。吾が臨済の門庭、甚麼の事か有る。

人人具足、箇箇円成、惜しいかな、自信不及にして、自ら棄て、自ら怠ることを。

九月になって西風、秋風が待ち遠しいものです。九月に入るとたちまちに西風がいつとはなく吹き、はらはらと落ちる落葉にビックリさせられるものです。

看よ、このように光陰（月日）はアツという間に過ぎ去って行く。

修行者よ、お前さん達はどれだけ修行したというのだ！

「吾が臨済の門庭、甚麼の事か有る」、臨済の真髓は決して難しいものではないぞ。「人人具足、箇箇円成」、誰でも同じように、仏（悟りを開いた人）になる可能性、即ち仏心仏性を、円満に過不足なく十二分に持っているではないか。「惜しいかな、自信不及にして、自ら棄て、自ら怠ることを」、それにもかかわらず、確信が持てずウロウロして自ら悟りを棄て、務めようとしなれないのは誠に惜しい事だ！

「幾時か熱と苦しみて西風を念う、九月西風落葉を驚かす」、じっくり参じたい句です。

思えば昨今のコロナ騒動 考えさせられます。  
ゴールデンウィーク、夏休み、盆休み、不要不急の外出を止めて家で静かに過す様に要請されて、いろいろあった約束ごとを断り、三密主義を守って寺に在る毎日です。来客も少なく、何かしら淋しい毎日です。

寺で飼うシバ犬二頭の散歩に付き合う事以外、門外不出の毎日です。

新命住職に跡をたくし隠居して十年こんな形で「ノンビリ」出来るとは思いませんでした。

しかし、近頃これが臨済禪師の云われる「さとり」というものではないかと思う様になりました。三密主義も又いいではないでしょうか。

いざれ西風が吹いて落葉に驚かされる日が来ることを信じて日々を過ごしましょう。



## 龍雲寺ダレマトーク（法話会）

【日時】9月26日（土）

午後3時半より5時まで

【講師】臨済宗円覚寺派管長

横田南嶺老大師

【場所】龍雲寺本堂

【参加費】無料

【演題】「鈴木大拙に学ぶ」

9月のダンマトークは、横田南嶺老大師にもご相談させていただいた結果、皆様の安全を第一に考え、現在の状況で対面開催は難しいとの判断より、「野沢龍雲寺」のYouTubeチャンネルにてライブ放映のみの開催となりました。応募いただいた方には、ご迷惑をおかけして申し訳ありません。何とぞご理解いただければ幸いです。

※感染状況により休止となる場合がございます。あらかじめご了承ください。



## ◆洗心坐禅会

先代の頃から四〇年続いた坐禅会も、大変残念ながら現在休止中です。申し訳ありませんが、今のところ再開の目処は立っておりません。5月より毎週日曜日の午前七時半よりzoomによる「野沢龍雲寺 オンライン坐禅会」を開催しております。YouTubeライブでもご参加いただけます。詳しくは龍雲寺ホームページをご覧ください。

また臨済宗青年僧の会様では、百日以上毎日「オンライン坐禅会」を開催されております。全国各地の和尚様による日替わりの坐禅指導が体験できます。こちらのホームページも是非ご確認ください。



## 募集 中

詳しくは龍雲寺まで  
お早めにお申し込み下さい。

◆無相教会花園流御詠歌会員募集  
（再開未定）

◆写経会（再開未定）

毎月第2土曜日 1時～4時

（但し、2月は第3土曜、7月、8月はお休み）

納経料は一卷500円（龍雲寺に納経）

※再開の予定は、現時点で確定できていません。尚、ご納経と用紙の配布は常時、玄関にて受け付けております。多めに用紙をご希望の方はあらかじめお電話いただくと助かります。

◆龍雲寺厚木墓地のご案内

厚木市・間修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせていただきます。

◆龍雲寺てらこや子ども論語塾

全国各地で定例講座をされている安岡定子先生をお招きしての論語の素読教室です。（9月より再開予定）

【日時】毎月第一日曜日

※3月・8月 休会

午後3時から

【参加費】大人800円、子ども無料

（家族料金800円）

申し込み、お問い合わせはお寺まで